

OECD東北スクールについて

福島・宮城・岩手の被災地の被災した中学生・高校生を地域復興の担い手として育てる長期的プロジェクト

福島大学が主催し、文部科学省・OECD が協力。外務省、県教育委員会、地方教 育委員会が後援。

プロジェクトのゴールは「2014年8月にパリから世界へ東北の魅力を発信するイベントを行う」そのためのプロジェクト学習。

リーダーシップ、企画力、創造力、建設的 批判思考力、実行力、交渉力、協調性、 国際性などを身につけ、地域の復興のみならず、東北全体、さらには日本全体を 考える人材を養成。



参加者の状況

福島・宮城・岩手の三県から 12チーム約100名の被災した中 高生が参加

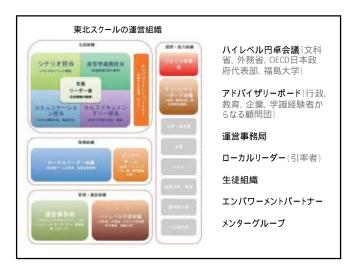
参加者はチームを作り、引率者(ローカルリーダー)の指導を受ける

春·夏に全員参加の集中ス クールを実施

地域に戻り、地域復興のプロ ジェクトを生徒の視点から考える。

東京・奈良にエンパワーメント パートナー(応援団)高校生

















広がるネットワーク!

- 9月以来、企業(Yahoo Japan、電通、テレビマンユニオンなどからプロボノ)、地方自治体、パリ市などと協力関係を結ぶ。
- 月1回のローカルリーダー会議、生徒リー ダー会議
- SkypeやFacebookを活用して、遠隔地間でコミュニケーション、情報共有。











第3回OECD東北スクールの開催

- 日時: 平成25年3月26日19:00~29日10:00
- 場所: 宮城県気仙沼市「ホテル観洋」
- 内容
 - 東北を世界にアピールするためのイベントづくり
 - 東北の歴史・産業を調べ発表
 - -4つの担当に分かれてタスク管理
 - -大人のためのワークショップ
 - 被災地のオプショナルツアー、など